

わる気と感動

学校だより 4号

平成30年

5月8日(火)

= 三年生 修学旅行 =

【1日目】

修学旅行は例年、入学式が終了してすぐに実施していましたが、新しい学年になり、クラスメイトともゆっくりと話をする間もないほど慌ただしく、帰ってきたと思ったらすぐに選手権大会。このような状況を少しでも改善していくということで、今年は修学旅行の時期を4月下旬にずらしました。そのため、学級や修学旅行の取り組みも余裕を持って行うことができました。

4月24日火曜日、地区ごとのバスに乗り、静岡サービスエリアで合流し、出発式を行いました。65名全員が参加できたことが何よりです。静岡駅での新幹線乗車は生徒も私たち教職員も、「乗り遅れたらどうしよう」という緊張感のもと、乗車したことを覚えています。広島に着くとすぐに昼食でした。名物のお好み焼きをおいしくいただきました。その後、雨の中、フェリーで宮島に行き、かすむ厳島神社の鳥居を見ました。十分に厳島神社を堪能できたかはわかりませんが、少なくとも、生徒たちの記憶には「雨の宮島」として一生心に残ることでしょう。次に向かったのは平和記念公園です。昨年度中に心を込めて折った鶴を原爆の子の像の前で捧げ、黙祷しました。記念碑の前では花を捧げ、皆で原爆で亡くなった方の冥福を祈り、平和の尊さを確認し合いました。そして、原爆資料館に入り、原爆の恐ろしさを改めて知ることができたと思います。

平和記念公園を後にし、徒歩で宿舎に向かいました。靴下は水で濡れていました。慌ただしく荷物を部屋に入れ、岡田恵美子さんを講師に招いて講話を聴かせて頂きました。ご自身が体験されたことと、その時代背景の話を通して、戦争・原爆の恐ろしさや平和の大切さを伝えて下さいました。真剣なまなざしで聴いている南部中生に、感激をし、お褒めの言葉を頂きました。私たちも御礼の合唱「平和の鐘」を歌いました。



夕食は広島ならではの好み焼きがついている、ボリュームたっぷりのもので、おなかやすいている中学生にはちょうどよかったと思います。食事の後に学年のミーティングをして、1日を閉めくりました。盛りだくさんの行程だった広島での1日目は、とても疲労しました。おかげでよく眠れました。

【2日目】

2日目の朝、大きな荷物をトラックで、京都タワーホテルアネックスへ送り、小さな荷物だけを持って、宿舎を出ました。広島電鉄という路面電車に乗りました。幸いなことに1回で全員乗りきることができました。広島町の並みを見ることができ、よかったです。そして広島駅から新幹線で新大阪駅まで行き、バスに乗り換え法隆寺に向かいました。五重の塔を背景にクラスの集合写真を撮り、境内をガイドさんの案内で見学をし、夢殿も見学しました。隣接する「富之里」で昼食をとり、奈良のお土産を購入したりして、法隆寺を後にしました。続いて訪れた薬師寺では、最初にお坊さんの説法を聴きました。漫談のような楽しい話の中に「面白いというのは表情が明るいとき、面倒だというのは面が倒れる、つまり顔が下を向く。だから面＝顔(表情)が大事。」というものがありました。生徒には印象的だったようです。

次に奈良公園内の興福寺に行きました。まず国宝館に班ごとに入り、その後、班別自主見学という

形で、事前に計画してあった春日大社や大仏殿などを見学しました。どの班も時間内には戻ってこることができましたが、途中、男女が分かれてしまった班があったり、行く予定の寺を見ないまま帰ってきたところもあり、残念でした。鹿とは十分遊べたようでしたが・・・。

奈良公園を後にし、京都のホテルへ向かいました。すでに部屋の中に大きな荷物が届けられ、とてもありがたく思いました。入館式を行い、夕食のために外へ出ました。メルパルクという建物の8階での夕食でした。おなかがすいていたのか、ビュッフェ形式であわてたのかはわかりませんが、8階からの絶景を見る生徒はほとんどいませんでした。夕日が綺麗だったのに……。夕食を頂き、宿舎に戻ってから夜のミーティングを開きました。明日の自主見学へ向けてのグループの最終打合せや、スマホの使い方の説明などをうけて、2日目を終えました。

【3日目】

3日目は京都市内自主見学でした。朝8時頃に宿を出発し、男女混合の13グループが、京都市内を公的交通機関を利用しながら見学してまわりました。途中で、コースに迷ったり、予定していた時間とずれてしまったりして、1日中本部で携帯のGPS情報をパソコンで確認しながら待機して下さった(株)トウワの藤原さんに相談をして、コースを変更する班もいくつか出ましたが、すべての班が、予定していた5時30分頃には宿に戻ることができました。宿舎に戻ってきたときにはさすがに「疲れた」と言っていた生徒も多かったです。しかし、その表情はとても充実感に満ちあふれ、爽やかでした。夕食は、昨日と同じメルパルクで摂り、修学旅行最後の夕食を楽しみました。

【4日目】

最終日の最初の行き先は妙心寺でした。「妙心寺に行ったら無言だ。しゃべっている生徒がいたら追い出されるぞ。」と言っておいたせいか、どの生徒も無口で、緊張感あふれていました。重要文化財の法堂で座禅をすることになっていました。座禅の意味や仕方を丁寧に教えていただいた後、実際に座禅体験をしました。積極的にお坊さんに警策棒でたたかれている生徒がいてよかったです。座禅後は天井に描かれている狩野探幽作の雲龍図を見ました。見る方向が違えば龍が違って見えるということで、生徒たちは興味深げに眺めていました。続いて高台寺の駐車場から徒歩で二年坂、三年坂を経て清水寺へ向かいました。清水寺到着後すぐにクラスごとの記念写真を撮りました。ガイドさんの説明を聞きながら清水の舞台まで移動しました。残念なことに舞台が修復中のため、観光客でごった返していたので、ゆっくり舞台から京都の町並みを見ることができませんでした。その後は班ごとに見学をしました。音羽の滝で願いが叶う水を飲んだり、こっそり地主神社で恋の願い事をしたり……。



昼食場所の「順正・おかべ家」へ集合し、名物の湯豆腐もセットになった「思い出弁当」を頂きました。その後、清水寺参道でのショッピングをしました。最後のショッピングということもあり、時間がいくらあっても足りないようでした。なぜか、というか、やはり、木刀を買っている生徒もいました。予定通りの時間に駐車場に集合し、バスの中でカラオケやビデオ鑑賞などを楽しみながら帰途につきました。

【おわりに】

4日間を振り返ってみると、全員参加で修学旅行を終えることができたことが何よりも。すぐに静かにならない、班を崩す、適切なバスの過ごし方ができない、忘れものがあったなどの課題点も残りましたが、その課題にこれから取り組んでいくことで、生徒の更なる成長につなげていきたいと思えます。校長先生は、「この修学旅行が本当に成功だったかどうかを確認するには、卒業式を見ればわかる。それまでの取り組みが肝心です。」と仰いました。この言葉を胸に刻みたいと思えます。今後、修学旅行記を作成し、輝城祭で展示します。力作をつくらせたいと思えますので、期待してください。

文責 3学年主任 稲葉 常明